

「戦略研究に向けた研究実施計画書作成に関する研究」の 中間評価について

【課題名】「市町村における生活習慣病予備群の発症予防対象者の抽出と保健指導等の予防介入システムの効果に関する研究」のための研究実施計画書作成に関する研究

本研究は、住民の健康リスクに応じた優先被介入者の抽出及び当該対象者への保健指導プログラムを開発し、これらに基づいて構築される一連の予防介入システムを地域に導入し、その効果を検証することを目的とした戦略研究の実施計画書作成を行うものである。

中間評価に際して提出された研究実施計画書案に基づき、戦略研究企画・調査専門検討会では、主に、以下の点に関して戦略研究としての実現可能性を引き続き検討する必要があると指摘した。

今後、本検討会は、研究実施計画書案の評価を継続して実施し、本年度内に、平成 25 年度からの戦略研究の実施に関する最終評価を行う。

(主な検討課題)

- 自治体における保健指導プログラムの効果検証として、比較可能性が最も高い研究デザインとなるようにすること
- 研究を実施する自治体の要件及びその根拠について客観性が担保されるようにすること
- 保健指導プログラムについて、最も適切な理論的根拠を明確にした上で介入内容を標準化すること
- 戦略研究の実施期間を考慮した上で、介入内容に対して最も適切に評価できるような評価項目を設定すること